

**先**日、関越自動車道で大雪の影響による車の立往生が発生しました。立往生は約2日間続き解消されましたが、その時に興味深い指摘がインターネット上でなされました。電気自動車が普及していればどうなったかと。このような状況では、車中いるものは寒さ対策のために、暖房を入れ続けなければなりません。その場合、ガソリン車等であれば、燃料があれば1~2日程度もち、燃料が無くては、携行缶等による給油が可能だそうです。

しかし電気自動車の場合、現状のバッテリー容量ではガソリン車ほど暖房を長時間使用し続けることができず、寒冷地ではバッテリーのパフォーマンスがさらに下がることで、想定よりも早くバッテリーが枯渇します。しかも電気自動車では数百台の立往生をカバーできるような充電手段が現状無いということです。とすると、極寒の環境では、立往生によって凍死するケースが多数発生するのでは、というのがその時の指摘でした。

アレルギー症状がある私としては、症状改善のためにも、電気自動車の普及によるクリーンな環境を構築して欲しいと願うものの、こういったガソリン車等には無い脆弱性の話を聞くと、まだまだガソリン車なども必要なのかなと思ってしまいます。

(S.S)

**昨**年2月と今年の2月を比較して、体重5キロ減量に成功しました。ただし、昨年2月の1カ月間は1キロ微減したのに緊急事態宣言が取り沙汰された3月から5月までの2カ月間は元に戻って75キロ。宣言解除後からとんとん拍子で落ちていき、昨年12月は69キロまで減らせたのに、今年1月からまた微増して2月現在70キロです。どうも緊急事態宣言で外出制限されると、如実に体重増加につながるようです。

減量でやったことと言えば、極力1日1万歩以上歩くことと、出来るだけ食べ過ぎないようにしようといういどの食事制限。日によっては2万歩以上もありましたが、少なくとも平均8,000歩以上は歩きました。その程度の運動でも筋肉はつくようで、昨年2月の骨格筋率は32%だったのが、今年2月は34%近くまで微増しました。

出勤する日は、朝晩の駅までの往復に、勤務時間中の移動などでなんだかんだ歩数を稼げますが、土日に外出しないと途端に1日1,000歩に届かどうかなんてことにもなるので、土日や在宅勤務の日は、極力速足で散歩するように心がけています。

今のところ、体重微増を緊急事態宣言のせいにしてはいますが、宣言解除後に以前のペースで減量できるか、ちょっと不安な今日この頃です。 (Y.H)

### こんな時が危ない!

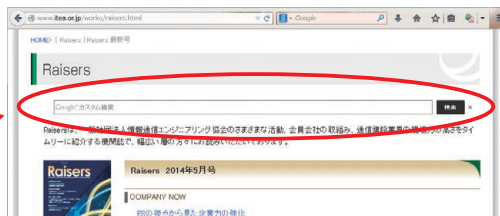
- 工事繁忙期よりも、終期、特に撤収作業時
- 非常に危険と思われる作業よりも、それほど危険と思われない作業時
- 同一作業が長く続くよりも、1日~2日とか半日、あるいはもっと短時間で終わる作業時
- わかりきった常識的な作業手順を守らない時
- 作業時に積極的な人が、指示以外の作業をした時
- 安全設備を取りつける段取りに取りかかる前
- 教育を十分うけているはずの職長や工事監督がルール無視の行動をした時
- 立入り禁止箇所、危険箇所を承知していて、そこへ行った時

#### 「Raisers」はホームページで閲覧可能です!

「Raisers」の最新号から過去記事までホームページで閲覧することができます。

<http://www.itea.or.jp/works/raisers.html>

また、ホームページ内の検索窓から読みたい記事の関連キーワードにより全文検索も可能です。是非ご活用ください。



Raisers第69巻第2号(通巻第747号) 2021年3月10日発行

■編集 一般社団法人情報通信エンジニアリング協会 〒150-0033 東京都渋谷区猿楽町3-3

Tel. (03) 3464-3211代 Fax. (03) 3464-3216

■発行所 一般社団法人電気通信協会 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-1-1 如水ビルディング6階

Tel. (03) 3288-0608 Fax (03) 3288-0615

(本誌掲載記事の無断転載を禁じます。)